

◎熱帯林業講座◎

アザミウマ科 Thripidae

体は多少扁平、翅は多少細長く先端に尖る。下方に彎曲した産卵管を有する。*Rhipiphorothrips cruentatus* HOOD は grape-vine thrips と呼ばれ、インドに広く分布している。ブドウ以外にも多くの樹木を加害する。1雌は50卵以上を葉に産下し、4~6日でふ化し、幼虫期は11~25日で葉の裏面で吸汁する。1世代14~33日で年5~8世代繰り返す。*Isoneurothrips australis* BAGN. (図-3)はオーストラリアのユーカリの花に普通に見られる。

クダアザミウマ科 Phlaeothripidae

翅に短毛がなく、翅脈を欠くか短く退化した縦脈を有する。腹部末端節は管状、産卵管を欠く。オーストラリアではアカシアの葉に虫癭を作る *Kladothrips* spp. のほか *Froggattothrips* や *Rhopalothripoides* 属のものがアカシアにつくと報告されている。

新刊紹介

◎発展途上国におけるオーストラリア産アカシア類 (Australian Acacias in Developing Countries, Proceedings of an International Workshop held at the Forestry Training Centre, Gympie, Qld., Australia, 4-7 August, 1986, ACIAR Proceedings No. 16, 196 pp., 1987)

1986年8月4~7日に、オーストラリア・クイーンズランド Gympie で行われたワークショップの議事録で、ACIAR (Australian Centre for International Agricultural Research) が刊行したものである。近年、各地で試みられている乾燥地・半乾燥地の緑化、造林にとって、アカシア類は最も有力な候補樹種群であるが、それらについての情報はこれまでのところごく限られている。まえがきに紹介されているように、アカシア属には約1,200種の樹木・灌木が含まれており、オーストラリア・アジア・アフリカ・アメリカ大陸に分布しているが、その2/3、800種以上がオーストラリア固有種である。このうちの数種は天然分布域外で広く植栽されているが、そのほかの種についてはほとんど知られていない。このような事情を背景に、①発展途上国に役立ちそうなオーストラリア産アカシア類についてわかっている情報を整理する。②アカシア類の利用を妨げている問題点をはっきりさせる。③ACIARが共同研究を組めそうな研究ニーズ、重点課題をみいだす、といった目的で開かれたこのワークショップには、地元オーストラリアのほか、中国、タイ、マレーシア、ケニア、タンザニアなど12か国から65名が参加した。発表論文は、分類から生理、生態にわたる基礎7篇、タネの発芽、マイクロプロパゲーションなど繁殖の問題から生長、耐性、利用にまでわたるオーストラリアでの研究成果13篇、および参加各国での導入成績、研究成果24篇の計44篇で、冒頭では、編者のJ.W. TURNBULL (現ACIAR林業部門コーディネータ)が、遺伝資源、生理・生態、造林、利用、社会経済学、研究協力の各項目にわけて、討議結果を要約、勧告ともしている。(浅川澄彦)